

2104A

研究テーマ名	アジア地域における健康起因事故防止に関する国際比較研究
背景と目的	<p>近年、運転者の健康状態が交通事故の主要な危険因子であることが報告されており、わが国でも健康起因事故防止は交通事故対策の重要な課題と認識されているが、特にアジア地域において健康起因事故対策は未だ十分に行われていない。</p> <p>そこで本プロジェクトでは、運転者の眠気に着目をした。運転者の眠気は交通事故の主要な危険因子であることが報告されているが、多くの先行研究において、運転者の眠気は主観的に評価されており、客観的に評価された眠気と交通事故との関連についてはほとんど明らかにされていない。また、運転者の眠気は様々な要因が関与し、国ごとに異なる文化的・社会的背景も影響する可能性があることから、運転者の眠気の原因に関する国際比較を行うことで、各国の状況に合わせた健康起因事故対策が可能である。</p> <p>以上より、本プロジェクトでは、2020年の社会貢献プロジェクトで構築された国際的ネットワークを基盤として、日本、中国、タイの職業運転者を対象に、運転者の眠気と交通事故との関連についてオンライン調査により明らかにし、各国における健康起因事故対策法の確立と普及啓発を行うことを目的とする。</p> <p>さらに、申請者はこれまでの研究プロジェクトにおいて、職業運転者を対象としたスクリーニングを実施し、わが国における睡眠時無呼吸症候群（SAS）の社会的予防体制の構築を行ってきた。また、視野障害の簡易検査であるクロックチャートを用いたスクリーニングも行ってきた。本プロジェクトでは上記の調査研究とともに、職業運転者を対象とした日本型のSAS検診モデルならびにクロックチャートによる視野障害のスクリーニングについて、アジア地域における実施可能性についても検討する。</p>
期待される成果	<p>本研究は運転者の眠気の評価について、自記式質問紙による主観的な指標だけではなく客観的な指標である Psychomotor Vigilance Task のアプリ版を用いる。これにより、運転者の眠気を定量的に評価し、交通事故への影響を明らかにするとともに、運転者の眠気による健康起因事故への適切な対策法の確立と普及が期待される。また、多要因である運転者の眠気について、国ごとの比較をすることにより、各国の文化的・社会的背景を考慮した運転者の眠気による交通事故対策を展開することが期待できる。</p> <p>さらに、日本型のSAS検診モデルやクロックチャートによる視野障害のスクリーニングをアジア地域で展開することにより、健康起因事故防止の国際的機運を醸成することが期待できる。</p>